



サラリーマン協奏曲

燭台切光忠 × 八七切長谷部

R18

なんだ
もう自分で
動かしてるの？

嫌だ嫌だと
言つてた割りには
飲みが早いね

長谷部君は
アナルで感じちゃう
素質があるのかな？

もうはんばんに
なってる

ほら今にも
イキそうだ

うっ

ううっ

…っ触る…なっ

恥ずかしがらないで
イっていいんだよ
長谷部君



やっ

やめっ!

いっ

いくっ!

すし...

いっばい出たよ
長谷部君

最悪だ...
何故俺がこんな...



得体の知れない
モノを尻に
突っ込まれ

仕舞には
男の手で
イカされて...

俺の人生は
何もかも
最悪の方へ
転がっていく

長谷部
ちまづといいか?

数日前

織田部長に
紹介された

は!!?

本日付で
うちの企画部に
配属された
長船 光忠君だ

こんな中途半端な
時期に配属?

特別待遇か?

そこで
今日から彼の
教育係を君に
なつた

しつかりと
叩きこんで
やってくれ
頼むぞ長谷部

長船 光忠です
宜しく願います

どうも

…何故眼帯?

なんでこんな
くっそ忙しい時期に
教育係なんて
しなきゃいけないんだ!!!

って思ってるでしょ

図星?
分かなりやすい
人だな長谷部君は♥

でもその割には
すんなりと
受け入れてたね

長谷部は
部長の命令には
絶対に従うって噂
本当たつたんだw

嫌でも部長の命令
だしね仕方ないよね
ちやんと面倒
見てくださいな

先輩♥

ふざけるなよ
この眼帯野郎…!!
部長の頼みでなければ
お前の世話など
誰がするか!!

←、言いたいのが
部長の事前準備

そうだな…
早く馴染むよう
ビシバシしこくから
覚悟しておいて
もらおう…

心の中の叫びは
なんとなく想像
できるけど…

これは…
思った以上に
面白いな

ふん…

みっちゃーん
お願い!

最悪の出会いから
数週間経ち
光忠は俺の補佐が
要らない位完璧に
仕事をこなしていた

はい♡

みっちゃーん?

どうだ長谷部
長船君の様子は

周囲との連携も
申し分ないですし

もう教育係は
必要ないかと思えます

女で…
この資料は
コスト高すぎるよ
酷しいんですよ

なんだか諦に落ちないが
認めざるを得ない…か

そうか…

それは
何よりだ

君の太鼓判が
あれば心強い
安心したよ

君に部署異動の
話が来ている

実はな
長谷部

……

?



営業部の黒田次長が
お前から欲しいと
前々から咳いていてな

長船もお前の業務を
こなせる様になった事だし
移動してみないか？

な…

…というかな
正直すでに異動は
決まっているんだ

我が企画部のエースが
抜けるのは心苦しいか
営業部で活躍してくれば
結果企画部にも貢献できる

布いては我が社全体の
利益につながるんだ
これは君にしか頼めない

黒田は人望も厚い
きつとすぐに
馴染むだろう

なんだ…？

行って
くれるな？

うまく立って
いられない

足元から地面が
崩れて空中に
放り出されたような

目に映るものが
歪んで見える

早くこの場から
立ち去りたい

…はい
わかりました

長谷部君
お疲れ様！

どうしたの？
この世の終わりの
みたいな顔して

この時間だから
誰も居ないと思っただけと
まさかまだ残ってる人が
いるとはね

あーあったあった
明日の出先が必要
なのに忘れちゃってさ

今日も外回りだった
んだけど時間全然なくて
くいつはぐれちゃった
んだよね

長谷部君も
メシまだでしょ？
食いに行かない？

どうしたの？
黙っちゃって
具合でも悪いの？
大丈夫かい

.....

.....
知っていたのか

え？何？
聞こえないよ

イカが
食べたい？

貴様は
知っていたのか
と聞いたんだ!!

...

知っていたら
どうだっていうの？

僕には
どうしようもない
事だって君にも
分かってるでしょ

これは毛利派閥と
織田派閥問題が
関わってくるんだから

へえ...
織田部長
もう話したんだ

僕を責めるのは
お門違いだよ

それが

どうして俺の
異動に繋がるんだ...!

この話は僕も
受け売りだけど...
君を欲しがった
黒田次長

したたかなんだか
とぼけてるのかか
腹に何か抱えてる
食えない男...だが

ここ最近
メキメキと功績を
上げてきていて
仕事が出来ないのか
欲しがってた人材を

そこへ目を付けたのが
織田部長って訳さ

どうしても
彼を味方に
付けられなかった
んだろうかね

君は同盟の為の
人身御供だよ

織田部長が
なる為のねに



君にとっては
本望なんじゃないの？

所詮僕らは
上層部のコマでしか
ないんだから
与えられた役目を
こなすだけだろ

結果
織田部長の種に
なるんだし

部長と俺は…
そんな容易い関係じゃ…

私は今の地位に満足は
していない

もっと上を目指すぞ
それにはお前が必要だ
ついて来てくれるな？
長谷部！

はい…!!
部長！
です

一緒に…上を
目指そうって…

そう…言って…

…

長谷部君は
織田部長に
夢見ちゃつて
みたいけど

あの人は
自分の為なら
どんな事でもするよ

僕を高値で
買ったみたいだね

元々僕は違う会社に居ただけで
織田部長にハントされたんだ
結構な額を出してくれるから
ホイホイとって感じだったけど…

君を移動させたいから
無理やり僕をハントするなんて
並大抵じゃ考えられないでしょ

僕も配属されてから
君の異動話云々は
聞いたんだけどね

まあ…
ちよつと酷い
話だよ

買った…!!?

わかって
たまるか!!

部長が…

長谷部君の
気持ちわかるよ

お前に…

なんだそれは!!





恐らく
呑んだ所で
この気分は
変わらない

だがそれよりも
織田部長の事に
ついて色々と
聞いてみたかった

俺の知らない
織田部長の事を

長谷部君
君って
お酒弱かったんだね

朝吹
Pub

うう…

な…なんで…

なんで俺
なんら…っ

ま…しい
悪い男の顔
しちゃって…

娘
いんせいら

薬まで使って…
知らないわよ
後でどうなっても

ふっ
そんな下手
打たないよ

光君
どうしちゃったの？

珍しいじゃない
こんな真面目君
拾ってくるなんて

だろ？

介抱するから
上の部屋
使わせてもらおうよ

顔もいいけど
性格も気に入ってさ
面白いんだよね彼

今までの
子達の中では
顔はびかーに
可愛いけど♡



例のモノって
なんですか？



藤四郎
例のモノ
用意してくれただ？

あー
しといたぜ

お礼は
振りの口座に
いいかな？

そーしといて



がばがばの
お前さんには
必要のねーもんだよ

なんですか……
それ……

おかしな
ものはすぐ報告



相変らず
趣味の悪い
部屋だな

おかしな
ものはすぐ報告



O Freude, nicht diese Töne!

sondern last uns angenehmere
anstimmen.

und freu ~~~~~ demvollere.

Freude!

Freude!

Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmische, dein Heiligtum!

Deine Zauber binden wieder,
was die Mode streng geteilt:
alle Menschen werden Brüder,
wo dein sanfter Flügel weilt.

第9話?

長...
船?

ここは...
どこだ?

Deine Zauber binden wieder,
was die Mode streng geteilt.



はははは
思ったより
元気だなあ

今すぐ
外せ!

おい...

ああ

alle Menschen werden Brüder,
wo dein sanfter Flügel weilt.

目が覚めたかい?
長谷部君

Wenn große Wurf gelangen,
Eines Fremdes Freund, zu sein.

何の真似だ
これは...

!?



しっ

は!?

Wer ein hohes Weib erlangen
Muss sie wissen Jubelent!

何をこちやこちや
言ってるんだ!
いいから外!

Ja wer auch nur eine Seele sein
nennt auf dem Erdenrund!

もう体を
起す事が
出来るなんて
すっごくおかしな
感じだ

君どんな
体してるの?



杜撰な長谷部君に
息抜きを教えて
あげようと思っ
てね

きつと君も
気に入って
くれると思っ
うよ

Und wers nie gekonnt, der stehle
weind sich aus diesem Bund.



Und wers nie gekonnt, der stehle
weind sich aus diesem Bund.

なんだ?
足感覚が...

...

下半身には
効力有か...

これは
都合だね

...っ
なに...?

Ja wer auch nur eine Seele sein
nennt auf dem Erdenrund!

Freude trinken alle Wesen
an den Brüsten der Natur.

あっ

つめたっ

やめろっ

そんなとこ
触るなっ!

っ

alle Guten... le Bösen folgen ihrer Rosenspur.

そんなに力んだら
せつかく入れたら
ジュエルが出てしまうよ
長谷部君

君が辛いように入れたらダメだよ
出したらダメだよ

ちほっ

このジュエルには
薬も入ってるから
すぐに楽しめるよ

Küsse gab sie uns und Reben,
einen Freund, gepuft im Tod

これを使
ってね

!!

こんな...

こんな事をして...
ただですむと
思ってるのか!?

お前を
訴えてやる
からな...!

会社にも
居られなくして
やる...!!!

Küsse gab sie uns und Leben,
einen Freund, geprüft im Tod.

Wollust ward dem Wurm gegeben,
und der Cherub steht vor Gott!

僕は入ったばかりの
会社に未練なんてないけど...

僕が辞めたら一番困るのは
織田部長だろうねえ

ハンディングした
織田部長だって
責任を負わされる

せっかく大金を出して
買った僕が不祥事を起して
首になったとなれば

...
っ

でも

君が全てを呑み込み
我慢すればはならない
そんな事にはならない

ただこれを入れて
だけで丸く収まる

Wollust ward dem Wurm gegeben,
und der Cherub steht vor Gott!

そう思わない?

俺が我慢を
すれば...

部長が...?

...とに...

まただ...

音が
頭を支配していく...

はあ

はあ

Froh, wie seine Sonnen fliegen,
durch des Himmels prächt'gen Plan

勿論だよ

長谷部君

たまらないよ

ああ…本当に君は
僕のツボを押してくれる…





ここが長谷部君の
いい所だよ

一度味わったら
堅物な君でも
中々抜け出せない
快楽が襲ってくる

かい……らしく……?

そう君には息抜きが
必要だって言っただろ



だめだ……

離れてみたら
案外周りの景色は
綺麗なものかも
しれないよ

何も……
考えられない……



何をそんなにあの人に
固執してるのか
分からないけど

君みたいな人に
あの人々の毒は
強すぎるんだよ

毒……?

こいつは
何を言ってる……

あの忌まわしき日から
数日が経った

あるのは「
あんな変態をハントした
織田部長に対する
不信感だけ」

「案と婚約のせい
か
あの日の記憶は
ほとんど無い」

長船の口振り：
部長とは随分と
交流があるみたいだが：

結局何も
聞けなかった：

しかし：
正直もうあいつと
関わりあいたくない：

長谷部君！

送別会の話
断ったんだって？

別に…会社を
辞めるわけじゃなし
そんなもの必要ないだろ

フロアだつて
目と鼻の先だ

ふーん
君がいいなら
いいんだけどねえ

皆寂しかった
からさ

僕を睨んでも
異動は変わらないよ

五月蠅い！
そんな事は分かっている！

異動とか……
そんな事は
もう吹っ切れてる



それよりも
お前との関係が
切れてせいせいする！



へえ……

それよりも
お尻が疼く？



さっ
触るな！
変態！！

お尻が疼く

お尻が疼く



切れる……ね

その強気な感じも
一僕の気に入ってる所の



あんな事を
しておいて
よくそんな事を
言えるな！

二度とその顔を
俺に見せるな！

僕は君とこの先も
関係を続けたいと
思っているのに

長谷部君

これを見ても
関係が切れると
思う？



やっ

やめろっ

来るな！



俺の道は何処から
狂っていったんだらう



この写真の意味が
分からない君じゃないよね？

君は僕の
手の内にある

そうだろ？
長谷部君



この暗くて
先の見えない道から
抜け出せない

そう告げる
音が聞こえた

